

## 文学賞 どんな賞がある?

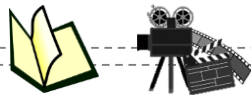


お笑い芸人・ピースの  
又吉直樹さんが『火花』で受賞して話  
題となった「芥川賞」。さて、この  
「文学賞」とは一体どんなものなので  
しょう?

芥川龍之介 は明治から大  
正時代にかけて短編作品で  
活躍した作家です。



芥川賞とは、純文学の無名または新人の作家の短・中編  
作品で、すでに発表済みの作品に与えられる文学賞です。作  
家以外の作品の受賞は過去にミュージシャンの辻仁成、町田  
康などがありました。選考委員には作家の小川洋子さんや、  
村上龍さん、宮本輝さんなどがいます。



### 直木賞はどんな賞なのでしょう?

直木賞は、「単行本として発表された短編および長編の大衆  
文芸作品中最も優秀なるものに呈(てい)する賞」とされて  
おり、芥川賞と同時に生まれました。選考委員には作家の東  
野圭吾さん・宮部みゆきさんなどがいます。芥川賞の純文学  
とちがい、こちらはエンタテインメント性が濃いことが特徴。  
映画化された「容疑者Xの献身」や「まほろ駅前多田便利  
軒」も記憶に新しいですね。

ほかにもよく聞く文学賞といえば、書店員さんが選ぶ「本屋  
大賞」、「このミステリーがすごい!大賞」などがあります。  
さまざまな個性のある文学賞で、この秋、お気に入りの一冊  
を見つけましょう!

# Teens Joy

10代のみなさんへのおすすめ図書リスト

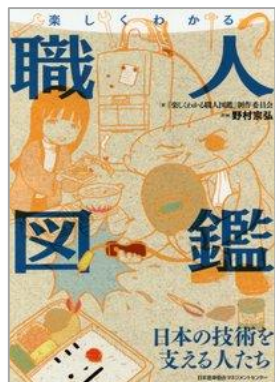


No.23 2015.10

清瀬市立図書館

## 楽しくわかる職人図鑑

「楽しくわかる職人図鑑」制作委員会／著  
日本能率協会マネジメントセンター



工場従業員などを中心に大反響を呼んだ、マンガ『とろける鉄工所』の野村宗弘先生のイラストにより、技術大国日本が誇る、プロの職人の全てをマンガで分かりやすく解説した図鑑です。

2つ以上の金属を高熱で溶かして接合させる溶接職人や、建設現場になくてはならないとび職人など、39職種10人の名工たちの働き方を通じて、プロの職人に求められる作業や生きかた、平均年収など細かなところを知ることができます。

『とろける鉄工所』のキャラクターがポイントを説明していて、楽しく読むことができます。

<中央図書館 根岸>

これから「大人」になる子どもたちに向けて、作家の吉本ばななが書いた本です。

文字も大きくてページの三分の一はイラストなので、さらりと読めてしまいますが、テーマはとても奥深く、本当に理解するためには何度も読み返さなくてはならないかもしれません。でも、大人になっても持っていたくなるような、宝物になる本です。

年を重ねれば自然と「大人」になるような気がしますが、実は本当の「大人」に成長したわけではありません。子ども時代の感覚を大切に、「自分」になっていってください。

<中央図書館 伊藤>

## おとなになるって どんなこと？

吉本 ばなな／著  
筑摩書房



シリーズ累計15万部突破している大人気小説「八咫鳥（やたがらす）」シリーズの第4弾。次の日嗣の御子（ひつぎのみこ）に忠誠を誓った主人公・雪哉たちの成長物語です。

今回は、前作までの宮廷ものではなく学園が舞台となり、主人公がどんだんイイ性格（腹黒く）になっていきます。そして信頼できる仲間を増やし、反目する相手と理解しあい成長していく感じは、まるで少年漫画のようです。

「お前の後ろには、俺達がいるって忘れるなよ」と言う少年達の物語を、グッとになりながら読みたい方には是非おすすめです。

<中央図書館 伊藤>

## 空棺の鳥

阿部 智里／著  
文藝春秋



## 「がんばらない」ススメ

酒井 圓弘／著  
幻冬舎メディアコンサルティング



著者の酒井圓弘さんは妙乗院の住職で、自他共に認める自己中和尚。ストレス社会で生きる現代人の心と体の健康、そして明るい未来をサポートする目的で仏教講座を全国で展開しています。

この本では、ありのままの自分、がんばらない自分になるための考え方を紹介しています。実体験や実際に受けた相談、ときには例えなどを使いわかりやすく表現しています。また、1単元が見開き2ページに収まっていて読みやすくなっています。人はみんな「欠陥人間」だと著者は言います。だからこそ自分をどこまでさらけ出せるか、がんばりすぎないかということが大切です。

大人が読んでも思わず「なるほど」と言いたくなる、今の生き方を楽にする方法が書かれた1冊です。

<駅前図書館 上竹>